

姫路市生涯現役推進計画 アクションプラン事業 進捗状況
(令和6年3月末現在)

施策(大分類)	総合評価					事業総数
	A評価	B評価	C評価	D評価	評価不能 (新規・廃止・中止)	
1 健康づくり	9	9	0	0	1	19
2 役割創出・社会貢献	16	13	0	0	1	30
3 学習・社会参加	16	13	0	0	4	33
計	41	35	0	0	6	82
割合(%)	50.0%	42.7%	0.0%	0.0%	7.3%	100.0%

※事業数は再掲を除く。ただし、事業の内容、指標／目標値が異なる場合は、それぞれ計上

【評価方法について】

5つの評価項目(①数値目標等達成率、②事業の参加者、利用者、受益者等の満足度、③生涯現役推進への配慮、④情報技術の活用の有無、⑤多世代交流の有無)の評価を踏まえ各事業を生涯現役の視点からA～Dの4段階で総合的に評価

A: 十分達成できた B: おおむね達成できた
C: あまり達成できなかった D: まったく達成できなかった

1 健康づくり

(1) 健康づくりの機会・場の充実【重点施策・健康増進事業】

① 運動する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
1	高齢者スポーツ大会の開催	姫路市老人クラブ会員を対象に、スポーツ大会を開催する。	出場校区率	100%	84%	10月5日 球技スポーツセンターで開催 グラウンドゴルフ(49チーム294人) ※会場スペースや運営スタッフの都合により輪投げ競技を実施せず(例年は陸上競技場)	A	開場を例年から変更したため、スペースの都合で競技をグラウンドゴルフのみとしたが、駐車場から会場までが近く、また、会場内の高低差が少ないこともあり、参加者の満足度は高かったと考える。日頃の練習の成果を発揮できる場として機能している。	100%	生涯現役推進室
2	生涯現役体操教室の実施	年齢や体力を問わず、気軽に身体を動かせる「生涯現役ガンバルン体操」や、さまざまな運動を行う教室を開催する。	定員充足率	100%	100%	・体操映像のリニューアル ・普及啓発用DVDの制作・配布(在庫対応) ・各種講座・イベントでのデモンストレーション ・ガンバルン体操&サプライズ健康教室の開催(計21回、参加者延べ854人) ※「ガンバルン体操ひろめ隊」との協働により実施	A	健康教室には平均40名が参加しており、参加者の満足度は高い。また、リニューアルした体操DVDの各地域包括支援センター等への配布により、いきいき百歳体操などと併せて実施することができ、高齢者の健康増進に寄与できた。	100%	生涯現役推進室
3	市民歩こう会の実施	市内各ブロックで歩こう会を開催する。	参加者数	500人	557人	市内6ブロックで実施 ・北中部 令和5年4月30日(日) 置塩公民館発着 ・南西部 令和5年5月14日(日) なぎさ公園発着 ※雨天中止 ・北東部 令和5年10月22日(日) 増位小発着 ・南中部 令和5年11月12日(日) 白鷺小中発着 ・南東部 令和6年1月28日(日) 別所小発着 ・北西部 令和6年3月3日(日) 林田小発着	A	各ブロック共に子どもから高齢者まで幅広い年代が参加しており、健康面だけでなく、年代を超えた地域のコミュニケーションの推進にもつながっている。	600人	スポーツ振興室
4	地域スポーツ振興事業の実施	スポーツクラブ21に事業の実施を委託し、すべての校区で年間を通して実施する。	実施校区数	71校区	71校区	・1校区を除くすべての校区(68小学校区71クラブ)で実施 ・実施されたすべての校区において、多種多様なスポーツイベントを行い、各校区全住民を対象に健康づくりを推進	A	歩こう会やベタンク等、老若男女問わず参加できるスポーツイベントを各校区のニーズに合わせて開催し、校区住民の交流を深めることができた。	71校区	スポーツ振興室
5	地域スポーツクラブの活動支援	各校区スポーツクラブ21で構成された姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の交流事業を行う。	交流大会の参加者数	800人	642人	姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の交流事業などを実施 ・全市交流大会(ベタンク、アジャタ・グラウンドゴルフ) ・ブロック交流大会	A	各ブロックで特色に応じたスポーツイベントを行うことで、より多くの参加者に、より身近にスポーツに触れ合う機会を作ることができた。	1,200人	スポーツ振興室
6	各種体育施設・健康づくり施設の運営	市民が各自の年齢や体力に応じ、気軽に健康づくりに取り組める施設を運営する。(網干健康増進センター、すこやかセンター、夢前福祉センター、総合スポーツ会館等)	利用者数 (網干健康増進センター(健康づくり施設))	135,000人	119,862人	新型コロナウイルスによる利用者数への影響が徐々に緩和されつつあったが、サウナ室工事に伴い、温浴施設の利用を令和5年11月1日~12月13日に休止したことから、利用者数は前年度比で149人減少	B	利用者数の目標値は達成できなかったが、前年度とほぼ同人数となった。	170,000人	エコパークあぼし(網干健康増進センター)
7			利用者数 (すこやかセンター(健康づくり施設))	179,000人	142,353人	サービスプログラム内容の定期的更新および内容充実、自主事業の充実を図った。	B	新型コロナウイルス感染拡大前の利用状況にまでは戻っていないものの、徐々に利用者数は回復してきており、利用者への評価も概ね好評であった。	179,000人	地域福祉課(すこやかセンター(健康づくり施設))
8			利用者数 (夢前福祉センター(健康づくり施設))	60,000人	60,790人	・開館日数 307日 ・施設総利用者数 53,095人 ・健康施設利用者数 60,790人 ※延べ人数 ・広報、アンケート実施	A	利用者数は新型コロナ禍前に及ばないものの順調に回復し、目標値を達成した。	65,000人	高齢者支援課(夢前福祉センター(健康づくり施設))

9			利用者数 (総合スポーツ会館等30施設)	1,150,000人	1,166,156人	新型コロナウイルス5類移行の影響もあってか、利用者数が年々回復してきており、目標値を上回る利用者数となった。 ・各体育施設の管理運営(指定管理25施設、直営施設4施設、民間体育施設一般開放事業1施設)	A	幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に教室事業やイベントを開催しており、継続して利用する利用者も多く、生涯現役社会の実現に向けた取り組みができてきているものと思われる。	130万人	スポーツ振興室 (総合スポーツ会館他30施設)
10	市民会館・地区市民センターの運営	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センターを運営する。	利用率	57%	54.6%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適な施設環境改善に努めた。	B	目標数値を概ね達成することができた。また、利用者の満足度も高かった。	60%	生涯現役推進室

② 科学的知見に基づいた健康づくり

No.	事業名	事業概要	R5事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度)目標値又は達成目標	担当課	
			指標/目標値又は達成目標	実績値又は達成状況	内容				
11-1	フレイル予防アプリの活用	高齢者自身が好きなタイミングや場所で、楽しく気軽にフレイル予防や認知症予防の取り組みに参加できるフレイル予防アプリを活用する。	アプリダウンロード数・ポイント付与人数	6,300件	令和6年度新規事業	—	6,300件	高齢者支援課	
11-2	シニア健康づくり事業の実施	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	市内大学と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラムを普及・啓発する。	科学的知見に基づいて考案した健康体操の啓発を行った。	普及啓発用DVDの配布	B	普及啓発用のDVDを各地域包括支援センター等に配布することにより、いきいき百歳体操などと併せて実施することができ、高齢者の健康増進に寄与することができた。	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	生涯現役推進室

(2) 健康づくりに取り組む人への支援【重点施策・健康増進事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R5事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度)目標値又は達成目標	担当課	
			指標/目標値又は達成目標	実績値又は達成状況	内容				
12	介護予防普及啓発事業の実施	地域において高齢者がいつまでも元気であること(介護予防)の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数(いきいき百歳体操を除く。)	700回	385回	B	目標は達成できなかったが、地域の場に出向き、普及啓発に取り組むことができた。	750回	地域包括支援課
13	健康増進のための啓発・教育・相談の充実	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	150回	100回	B	コロナ禍を経た市民の生活行動様式の変化により、集団健康教育の実施回数が増えなかったが、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	170回	保健所健康課

② 健康づくりの担い手への支援

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
14	食生活改善ボランティアリーダーの養成	姫路いずみ会のリーダーを養成するための講習会を開催する。	受講者数	20人	9人(修了者)	・開催回数 9回(6月～翌年2月までの各月1回) ・参加者 20人	B	教室で得た知識を日々の生活に活用し、食事バランスや食意識は良くなったと思われる。教室受講者修了者は、食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	20人	保健所健康課
15	高齢者向け運動指導者養成講習会の開催	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	176人	モルック体験講習会 66人 ポッチャ体験講習会 51人 スナッグゴルフ体験講習会 59人 (R 3～R 5 累計 493人)	A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられる。	550人 (R 3～R 8 累計)	スポーツ振興室
16	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	535グループ	480グループ	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援	B	地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	600グループ	地域包括支援課 保健所健康課

③ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
17-1	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。 ※健康増進活動のみ抜粋	助成校区率(生涯現役地域活動助成事業のうち、健康増進事業)	65%	49%	健康増進活動 対象：22校区	B	インフルエンザ流行の影響で、恒例イベントや新規計画の中止により目標値を下回ったが、参加者の満足度は高く、高齢者の健康維持や交流促進に寄与できた。	80%	生涯現役推進室

(3) 健康づくりに関する意識啓発

① 情報提供や意識啓発

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
18	地域放送メディアや動画配信を通じた運動講座の実施	ケーブルテレビやインターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を紹介し、高齢者が自主的に健康づくりに取り組めるように支援する。	高齢者向けの運動番組を毎日放送し、多くの人自主的に健康づくりに取り組んでいる。	多くの人自主的に健康づくりに取り組めるよう、高齢者向けの運動番組を毎日放送した。	ケーブルテレビやインターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を紹介し、高齢者の自主的な健康づくりへの取り組みを支援した。 ※ケーブルテレビ番組は令和5年度をもって廃止 ※インターネット動画配信は継続	A	メディアを通じた生涯現役の意識啓発としてうまく機能している。	高齢者向けの運動番組を毎日放送し、多くの人自主的に健康づくりに取り組んでいる。	生涯現役推進室	
再掲	介護予防普及啓発事業の実施 ※No.12再掲	地域において高齢者がいつまでも元気であること(介護予防)の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数(いきいき百歳体操を除く。)	700回	385回	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援	B	目標は達成できなかったが、地域の場に出向き、普及啓発に取り組むことができた。	750回	地域包括支援課

再掲	健康増進のための啓発・教育・相談の充実 ※No.13再掲	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	150回	100回	・集団健康教育 100回 【内訳】 ・重点健康教育 31回 (一般・歯周疾患・ロコモティブシンドローム・薬等) ・その他健康教育 69回	B	コロナ禍を経た市民の生活行動様式の変化により、集団健康教育の実施回数が少なかったが、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	170回	保健所健康課
----	---------------------------------	---	-----------	------	------	--	---	---	------	--------

2. 役割創出・社会貢献

(1) 社会貢献活動の機会・場の充実

① ボランティア活動の機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
19	見守りウォーキングの実施	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で73人の登録があった。	A	見守り活動に参加をしてもらい、地域の見守り力の向上に貢献できた。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室	
20	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように「あんしんサポーター」がボランティア活動を行う。	あんしんサポーター登録者数	700人	729人	・養成講座の各種媒体での周知 ・姫路市民アプリ「ひめバス」登録者数 75人 ・活動交付金のひめじポイント付与者 27人 ・ボランティア同士の交流や知識を深めるための交流会やフォローアップ研修会を実施	B	活動登録は伸びているが、登録者に十分な活動の場が提供できていない。	900人	地域包括支援課
21	スクールヘルパー制度の推進	地域ボランティア「スクールヘルパー」が登下校時の声かけ、校内巡回等の活動を行う。	登録者数	16,000人	16,499人	・スクールヘルパーの募集 ・活動用具等の準備 ・補助金振込	A	登録者数の減少が児童数減により予測されるが、高水準を維持しているのは、地域の方々の継続的な協力によるものと考えられる。しかしながら、ボランティアの高齢化という課題は残る。	15,000人	健康教育課
22			登録者数	920人	914人	姫路お城まつり、観桜会、姫路城観月会でイベントボランティアの募集を行い、合計40人が参加。また、3月25日・26日には、姫路市イベントボランティアや観光ボランティアガイド、タクシー乗務員・協会役員、観光関連事業者等を対象に「観光ボランティアおもてなし研修会」を実施し、延べ175人の参加があった。	A	イベント開催にあたり、姫路市観光ボランティアへの積極的な参加募集やボランティアおもてなし研修会を実施し、市民によるボランティア活動の場・機会の充実を図った。	950人	観光コンベンション室
23-1			ボランティア登録人数・養成講座参加人数	1,400人	749人	・日本語学習支援ボランティア養成講座 受講修了者 24人 ・ひめじ国際交流フェスティバル ボランティア参加700人 ・通訳翻訳ボランティア (14人)、ホストファミリーボランティア (11人) 等随時募集	B	数値目標には届かなかったものの、あらゆる世代の方々にボランティア等に参加・登録していただくことができた。	1,400人	文化国際課 (国際交流)
23-2	各種ボランティアの活用 (観光、国際交流、文化振興、美術館、文学館)	市が実施する事業・イベントに協力するボランティアを募集・活用する。	ボランティア登録人数	50人	29人	ル・ボン国際音楽祭 ・文化ボランティア 9人 ・通訳ボランティア 20人	B	数値目標には届かなかったものの、積極的な活動により事業実施に貢献した。	50人	文化国際課 (文化振興)

24			ボランティアリーダー会議を中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。	ボランティアリーダー会議を中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動できた。	登録ボランティアが8つの班に属して、前年度実績をベースに活動を行った。また、新規登録者募集を推進した。	B	ボランティアリーダーを中心に美術館の円滑な運営に寄与している。また、同活動は世代間交流の場でもあり、幅広い世代が「生涯現役」について考える機会となったとともに、高齢者の社会参画と生きがいづくりに資することができた。	ボランティア活動の満足度を高め、美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。	美術館総務課
25		1月あたりのボランティア活動人数(延べ)	70人	71人	発送作業、行事受付などの活動のほか、イベントの運営やワーキンググループ活動等を実施	A	各人ができる範囲でを前提としつつ、ボランティアと館相互の信頼関係を深めながら安定した活動を行うことができた。	70人	姫路文学館学芸課

(2) 社会貢献活動に取り組む人への支援【重点施策・役割就労事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
26	市民活動に関する相談機能の充実	ボランティアやNPO活動に関する相談を受け、活動への参加機会の拡充を図る。	相談件数	380件	296件	市民活動・ボランティアサポートセンター職員が、NPO法人、ボランティア団体等を中心とした市民活動に関する相談に対して個別・具体的に対応した。	B	コロナ禍の収束により来所相談件数が増えてきており、ボランティア活動に関する相談について個別・具体的に対応できた。	410件	市民活動推進課 (市民活動・ボランティアサポートセンター)
27	生涯現役推進専門員の配置	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務の実施(年間125件) 情報の収集・発信 生涯現役人材バンクの運営 相談窓口設置のPR活動 	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。		生涯現役推進室

② 活動への参加促進

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
28	市民活動に関する講座・研修会の開催	市民活動に対する啓発や参加促進を目的とした講座・研修会を実施する。	受講者数	95人	158人	各種講座・研修会等の実施(3講座6回)	A	内容的に充実し、目標人数にも達した。	120人	市民活動推進課 (市民活動・ボランティアサポートセンター)
29	地域の新しい担い手づくりの推進	自ら地域課題を見つけ、解決する力を持つ「新しい担い手」を養成するための講座等を開催する。	受講者数	30人	68人	地域や社会で生きがい発見! セカンドライフ応援講座・10/13(金)・20(金)・27(金)(全3回) (R3~R5累計 137人)	A	自分らしいライフスタイルの中に、地域活動を取り入れることの大切さを伝える内容の講座ができた。	180人 (R3~R8累計)	生涯現役推進室
再掲	食生活改善ボランティアリーダーの養成 ※No.14再掲	姫路いずみ会のリーダーを養成するための講習会を開催する。	受講者数	20人	9人(修了者)	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数 9回(6月~翌年2月までの各月1回) 参加者 20人 	B	教室で得た知識を日々の生活に活用し、食事バランスや食意識は良くなったと思われる。教室受講者修了者は、食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	20人	保健所健康課

再掲	スポーツ指導者養成講習会の開催 ※No.15再掲	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	176人	モルック体験講習会 66人 ポッチャ体験講習会 51人 スナッグゴルフ体験講習会 59人 (R3～R5累計 493人)	A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられる。	550人 (R3～R8累計)	スポーツ振興室
再掲	見守りウォーキングの実施 ※No.19再掲	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。		登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で73人の登録があった。	A	見守り活動に参加をしてもらい、地域の見守り力の向上に貢献できた。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室

③ コーディネート組織の設置

No.	事業名	事業概要	R5事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度)目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
30	個人ボランティア登録制度の実施	ボランティアに関する情報提供を行う個人登録制度を実施する。	登録者数	440人	388人	・ボランティア募集記事を掲載した通信を毎月発送 ・センター公式SNSを運用し、ボランティア募集等に関する情報を発信	B	コロナ禍以降、新規登録は減少しているが、紹介できるボランティアメニューは少しずつ増えつつある。	450人	市民活動推進課 (市民活動・ボランティアサポートセンター)
31-1	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	マッチング件数	60件	49件	・依頼件数 31件 ・マッチング件数 49件 ※1件の依頼で複数回のマッチングあり	B	目標値は達成できなかったが、活動後のアンケートで満足度が高かったため、高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進できた考える。	120件	生涯現役推進室
32	ファミリーサポートセンター事業の充実	子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を登録し、子育ての援助活動を行う。	60歳以上の提供・両方会員(子育ての援助を行う人)の数	229人	257人	・登録会員数 2,562人 依頼会員1,751人、提供会員688人(うち60歳以上257人)、両方会員123人 ・援助活動件数 3,102件 ・事業説明会の開催 170回(238人参加) ・講習会、交流会の開催 ・各種媒体による会員募集	A	引き続き会員数は少しずつ増えており、実際に活動している会員間(提供会員・両方会員と依頼者・その子ども)の結び付きは強く、双方の満足度は高い。	250人	こども支援課 (子育て情報相談室)

④ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R5事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度)目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
33	こども見守り隊への助成	連合自治会等の団体が行う通学路の立番や防犯パトロール等の活動に対し助成する。	助成地区数	73団体	69団体	連合自治会(69地区)に対し、15万円を上限に助成した。 青パトに係る臨時的経費として、青パトを所有する団体(4団体)に対し、5万円を上限に助成した。	A	こども見守り隊の主な活動員は高齢者だが、児童や生徒への見守りを通じて交流を深める機会になった。	73団体	危機管理室
34	提案型協働事業の実施	市民と行政が協働して行う事業の提案を募集し、選定された事業に対して補助を行う。	高齢者関係の採択件数	2件	1件	4月17日～5月15日 提案募集 6月18日 審査会開催 7月中旬 採択団体決定 (R3～R5累計 4件)	A	高齢者に関わる問題について、民間でも高い関心と危機感を持って取り組んでいただいていると実感できた。	12件 (R3～R8累計)	市民活動推進課

⑤ 活動に関する情報提供

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
35	市民活動団体登録制度の実施	市民活動団体の登録制度を実施し、情報や交流機会を提供する。	登録団体数	400団体	352団体	・印刷室、活動室の利用 ・ボランティア活動に関する情報提供や相談対応、活動PR ・市内公共施設の使用料減免 ・「ひめじdeボランティア」等の連携交流会の実施	B	コロナ禍以降、団体の高齢化により登録数が減少しているものの、新たな事業の実施を通じて、新たな担い手の確保につなげることができた。	420団体	市民活動推進課 (市民活動・ボランティアサポートセンター)
36	市民活動に関する情報の収集・提供	市民活動に関する情報を収集し、さまざまな媒体を活用して提供する。	市民活動ネットひめじへのアクセス数	15,000件	14,157件	ボランティア活動やNPO活動などの市民活動に関する情報を収集し、さまざまな媒体を活用して情報発信することで、社会貢献活動への参加の促進を図った。	B	SNSの利用によりフォロワー数も増え、より幅広い世代への情報発信ができた。	25,000件	市民活動推進課 (市民活動・ボランティアサポートセンター)
37	生涯現役の推進に貢献している団体の表彰	生涯現役を推進する活動を行っている団体を表彰し、その取り組みを全市に広げる。	受賞団体数	4団体	3団体	姫路市老人クラブ連合会から推薦を受けた校区老人クラブ及び単位老人クラブを表彰 (R 3～R 5 累計 9 団体)	A	数値目標は下回ったが、生涯現役を推進する活動を熱心に行う団体を顕彰し、その活動を他の団体にも広めるという事業の目的は達成できた。	24団体 (R 3～R 8 累計)	生涯現役推進室

⑥ 老人クラブ活動への支援

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
38	アドバイザー派遣事業の実施	老人クラブからの要望に応じて、各老人クラブの課題解決に有効な研修等となるようアドバイザーを派遣する。	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	連合自治会から、校区内の老人クラブを含む各種地域団体の代表者等を対象とした地域課題の解決のためのアドバイザーの派遣依頼があり、最適なアドバイザーを選定、派遣した。	老人クラブからの派遣要望は無かったが、連合自治会から、校区内の老人クラブを含む各種地域団体の代表者等の防災（特に地震）の知識習得と地域課題の解決のためのアドバイザーの派遣依頼があったため、最適なアドバイザーを選定し、派遣した。 令和5年度派遣回数 1回	B	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、老人クラブからの要望に応じてアドバイザーを派遣する体制を整えている。	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	市民活動推進課	
17-2	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。	助成校区率（生涯現役地域活動助成事業のうち、地域活動事業）	65%	80%	・老人クラブ活動助成事業 社会奉仕活動、教養・文化活動、健康増進活動 ・老人クラブたすけあい運動推進事業 子育て支援活動、地域見守り活動 ・生涯現役地域活動助成事業 地域交流活動 対象：36校区 健康増進活動 対象：22校区	A	インフルエンザ流行の影響はあったが、本事業参加者の満足度は高く、高齢者の生きがいづくり及び地域の住民や世代間の交流を促進することができた。	80%	生涯現役推進室
39	老人クラブの加入促進活動への支援	老人クラブの加入促進活動を支援する。	会員数	42,500人	34,118人	姫路市老人クラブ連合会が実施する加入促進活動に対して資金面等で援助を行った。	B	老人クラブの解散に伴い会員数は減少したが、機関紙「熟年」の自治会等配布や市老連ウェブサイトのほか、お城まつり総踊りなどへの参加により、PR活動を支援できた。	45,000人	生涯現役推進室
40	老人憩の家整備補助事業の実施	老人クラブの活動拠点を充実させるため、備品購入費を補助する。	補助申請率	95%	72%	老人憩の家の整備充実を図るため、備品購入費を補助した（1箇所につき20万円まで）。 助成予定数40箇所、助成数29箇所	A	申請件数は目標値を下回ったが、クラブ会長から満足の意見が多数あり、老人クラブの活発な活動を促進できた。	95%	生涯現役推進室

(3) 就業への支援【重点施策・役割就労事業】

① 就業機会の提供

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
41	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」に掲載するなど、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、認定された事業所名を市公式ウェブサイト等で情報提供を行った。	シニア活躍事業所を新たに6カ所認定し、市公式ウェブサイト等で公表した。また、そのうち3社を「JOB播磨」上で紹介した。	B	シニア活躍事業所として新たに6事業所を認定し、「JOB播磨」への登録を推奨することで、働きたい高齢者への情報提供を充実させた。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	生涯現役推進室 労働政策課
42		ハローワーク等関係機関と連携しながら、高齢者の希望に合った多様な働き方を促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。		ハローワークの高齢者向け求人説明会等で連携してきたが、コロナ禍で中断され、5類移行後の令和5年度も対象が高齢者であることから、説明会自体の実施が見送られた。	—	令和5年度は実施できなかったが、高齢者が希望に合った仕事とマッチングできるよう、ハローワークと連携していきたい。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	労働政策課
43	シルバー人材センターへの支援	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、運営費等を助成する。	会員数	2,500人	2,036人	A	高齢者の就業機会の確保とその福祉の増進を図り、その能力を活かした活力ある地域づくり及び生涯現役社会の推進に寄与している。	2,500人	労働政策課

② 就業に関する相談等

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
44	姫路しごと支援センター、雇用アドバイザーの活用、雇用情報の提供	姫路しごと支援センターにおいて、就職に関する相談等の支援を行う。また、雇用アドバイザーによる雇用相談や求人情報の提供を行うとともに、弁護士や社会保険労務士による労働相談を行う。	相談件数	1,000件	1,256件	A	目標値を上回る件数の相談を受けることができ、十分な成果を上げることができた。	1,000件	労働政策課

③ 企業への働きかけ

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
45	高齢者の雇用に関する企業への働きかけ	定年の引上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の雇用促進・雇用環境整備等の取り組みを企業に働きかける。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	定年の引き上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	・パンフレットの窓口配布 ・兵庫県雇用開発協会への支援 ・高齢者を対象とした国・県の雇用助成制度の周知	B	情報提供や雇用開発協会の各種活動を通じ、高齢者の雇用に関する企業への働きかけが実施できている。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	労働政策課

再掲	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進 ※No.41再掲	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」に掲載するなど、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、認定された事業所名を市公式ウェブサイト等で情報提供を行った。	シニア活躍事業所を新たに6カ所認定し、市公式ウェブサイト等で公表した。また、そのうち3社を「JOB播磨」上で紹介した。	B	シニア活躍事業所として新たに6事業所を認定し、「JOB播磨」への登録を推奨することで、働きたい高齢者への情報提供を充実させた。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	生涯現役推進室 労働政策課
----	---------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	------------------

(4) 起業・開業への支援

① 起業・開業への支援

No.	事業名	事業概要	R5事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度)目標値 又は 達成目標	担当課
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容			
46	起業を支援する講座の充実	起業家を育成する創業・起業セミナーや起業家フォローアップセミナーを、関係機関と連携し開催する。	55歳以上の受講者数	15人	52人	A 目標とする受講者数には達していないが、毎年一定数の参加者があり、受講者満足度も高いため、生涯現役の推進に一定の効果があったと思われる。	28人	産業振興課

3 学習・社会参加

(1) 学習活動の機会・場の充実【重点施策・学びの充実事業】

① 学習する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R5事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度)目標値 又は 達成目標	担当課
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容			
47	オープンカレッジの開催	市内の大学が開設する公開講座に対し支援する。	講座数	5講座	6講座	A すべての市内大学(6キャンパス)で講座を開催することができ、数値目標を達成した。また、高齢者が参加しやすいよう広報を行い、多くの高齢者が受講していることから、事業目標は十分達成できたものといえる。	5講座	高等教育室
48	生涯現役応援講座の開催	生涯現役をめざして自分らしくいきいきとした生活が送れるよう応援するための講座を開催する。	定員充足率	100%	令和5年度以降廃止	—	—	男女共同参画推進センター
49	高齢者消費者被害防止講座の開催	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	30回	45回	A 最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施 ・生涯学習大学校において、高齢者や身近で見守る人を対象とした「高齢者消費者被害防止講座～サイバー空間の危険から身を守るために!」を9月26日に開催	50回	消費生活センター

50	農業体験研修事業の実施	農業の多様な担い手を育成する農業研修「ひめじ帰農塾」と、市政出前講座などを活用した栽培講座「ひめじ楽園塾」、また研修修了生から栽培指導ボランティア「ひめじアグリダー」を育成する。	受講者数	790人	1,646人	・ひめじ帰農塾 講座部門 座学コース 45人 実習部門 野菜コース 11人 果樹コース 10人 花苗コース 9人 ・ひめじ楽園塾 全56回開催 1,571人	A	好古学園大学校では各学年2回程度の毎年開催が定着し、市内小学校や公民館への出前講座も増加傾向にある。	座学コース 60人 野菜、果樹、花苗・鉢花コース 各10人 ひめじ楽園塾 1,000人 ひめじアグリダー 10人	農業振興センター
51	市民教養講座の開催	歴史講座、現代社会講座を開催する。	受講者数	1,900人	1,853人	(1)歴史講座 4コース 各8回を開催 参加者 1,605人 (2)現代社会講座 1コース 5回開催 参加者 248人	A	受講者数が多く、平均出席率もおおむね7割の水準にあることから、受講者の満足度が高いと思われる。	1,900人	生涯学習課
52	公民館活動の充実	教養講座、地域講座、文化講座の充実を図る。	受講者数	400,000人	391,692人	・教養講座 846回 32,837人 ・地域講座 4,321回 75,743人 ・文化講座 34,602回 283,112人	A	各公民館において地域ニーズや地域課題を把握し、公民館事業に取り入れ、企画・実施することができた。	480,000人	市民活動推進課

② 生涯学習大学校・好古学園大学校の充実

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
53	生涯学習大学校活動の充実	生涯学習大学校講座の充実を図る。	在籍者数	2,560人	1,957人	本科36講座 1年1,434人 2年523人 合計1,957人	B	講座により定員充足率に違いは有るが、学生のニーズに応じて毎年講座の見直しを行い、生涯にわたって幅広い知識を得たいという学習意欲に応えることができた。	2,600人	生涯学習大学校
54	好古学園大学校活動の充実	好古学園大学校講座の充実を図る。	在籍者数	1,650人	1,566人	(1)専門講座 ・大学課程(4年制): 8学科・9教科 13クラス ・大学院課程(2年制): 8学科・9教科 13クラス (2)学年別教養講座 ・大学課程・大学院課程各学年1回 計6回 (3)全学教養講座 年6回 その他 クラブ活動(13クラブ) 学校行事(合同芸能発表会・音楽会・学園祭)等	A	学園祭芸能発表会や音楽会、作品展の実施など専門講座やクラブ活動等の発表の場の提供など、学生にとって充実した学園生活を送っていただくことができた。	1,950人	好古学園大学校

③ 展示会、発表会の開催

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
55	高齢者作品展の開催	60歳以上の市民による絵画、書、工芸等の作品展を開催する。	出展作品数	380点	244点	・開催期間 令和5年9月30日～9月3日 ・会場 イーグレひめじ市民ギャラリー ・来場者数 1,090人	A	昨年度に引き続き出展作品数の目標値は下回ったものの、出展者や来場者の満足度は高く、継続開催への期待が大きい。また、こうした趣味活動の成果を披露する場を設けることで、高齢者の趣味活動に対するモチベーション維持に寄与していると考えられる。	400点	生涯現役推進室
56	高齢者芸能発表会の開催	60歳以上の市民グループによる音楽やダンス等の発表会を開催する。	出演グループ数	55グループ	32グループ	・開催日 令和6年2月6日(火) ・会場 市民会館大ホール ・出演 32グループ、457人 ・演目 舞踊、体操、コーラス等	A	校区老人クラブの解散や出演者の高齢化などにより老人クラブの参加率が低下したが、老人クラブ以外からの参加もあった。参加者の満足度は高く、日頃の趣味活動の成果を発揮できる場として機能している。	60グループ	生涯現役推進室

(2) 学習活動に取り組む人への支援

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
再掲	生涯現役推進専門員の配置 ※No.27再掲	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務の実施 (年間125件) 情報の収集・発信 生涯現役人材バンクの運営 相談窓口設置のPR活動 	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役推進室

② 学習成果を生かす機会の提供

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
57	市民農園・レクリエーションファームの充実	市民農園・レクリエーションファームの充実を図る。	入園率	87%	83%	(1)市民農園入園率 <ul style="list-style-type: none"> 仁色ふるさと農園 41% (83/202) 南恒屋ふれあい農園 74% (75/101) 林田チャレンジ農園 100% (36/36) (2)レクリエーションファーム <ul style="list-style-type: none"> 開園数 39園 (協議会29、それ以外10) 入園率 (協議会) 93.1% (784.2/842.7) 	B	目標値は達成できなかったが、市民農園及びレクリエーションファームの継続により学習成果を生かす機会の提供体制を整えられている。	農政総務課
31-2	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	登録件数	70件	89件	<ul style="list-style-type: none"> 登録件数 89件 新規登録件数 2件、登録取消件数 2件 市内出先機関に人材バンクパンフレット及び人材リストを設置、市公式ウェブサイトにも掲載 	B	広報ひめじやイベント時のチラシ配布によりPRを行い、新規登録件数は2件のみであったものの、目標値を十分上回る登録件数を維持することができた。	生涯現役推進室

(3) 情報の活用

① 総合的な情報提供

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
58	インターネットによる情報提供	生涯現役に関する情報を総合的に提供するポータルサイト「生涯現役ネットひめじ」を運営する。	アクセス数	52,000件	50,097件	生涯現役に関する必要な情報を「生涯現役ネットひめじ」へ随時更新を行った。	A	一定のアクセス数があり、内容についても必要な情報を適宜更新し、生涯現役に関する情報提供ができたと思う。	生涯現役推進室
59	啓発パンフレットによる情報提供	生涯現役に役立つ事業を紹介する冊子を作成し、配布する。	市の事業を紹介する冊子を配布、活用してもらい、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。	令和5年度以降廃止	「生涯現役応援ハンドブック」は令和4年度をもって廃止し、「高齢者のくらしの福祉」への掲載で代替することとした。	—	啓発冊子を多くの人に配布し、活用してもらうことにより、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。	生涯現役推進室	

60	コミュニティFM放送の活用	コミュニティFM放送を活用し、生涯現役に活躍する人の紹介や、生涯現役に関する情報を提供する。	出演回数	12回	12回	「飛び出せ！まちの元気人」のゲストとして、毎月1回生涯現役な人を出演いただき、日頃の活動や生涯現役の秘訣を語ってもらった。(12回)	A	生涯現役で活躍する方の活躍をラジオを通じて多くの市民の方に発信し、高齢者に対して生涯現役の意識啓発を行うことができた。	12回	生涯現役推進室
----	---------------	--	------	-----	-----	--	---	---	-----	---------

② 情報格差の解消

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
61	地域活動担い手パソコン講座の実施 ※ R 6 からNo.29に統合	地域活動担い手のためのパソコン講座を実施する。	受講者数	30人	17人	初心者のためのパソコン講座 11/13(水)～15(金) (全3回) (R 3～R 5 累計 64人)	B	参加者のパソコンスキルを上げるだけでなく、老人クラブの補助金申請を円滑に進められるような効果を期待していたが、参加者の理解が追い付かなかった。	180人 (R 3～R 8 累計)	生涯現役推進室
62	生涯学習大学のパソコン講座等の充実	生涯学習大学のパソコン講座等の充実を図る。	参加者数	216人	233人	・本科 94人 (基礎30人、応用30人、夜間基礎17人、夜間応用17人) ・短期パソコン講座 71人 (入門20人、ワード21人、エクセル30人) ・パソコン指導者養成講座 8人 ・スマホ講座 60人 (アンドロイド40人、 아이폰20人)	A	パソコン指導者養成講座は応募者が減少傾向にあるが、短期パソコン講座は学びたいソフトごとの講座になっており、受講者の満足度は高かった。スマホ講座は計画より定員を増やして開講した。	216人	生涯学習大学校
63	好古学園大学校スマホ講座等の開催	好古学園大学校の教養講座において、情報格差の解消に繋がる講座を開催する。	定員充足率	80%	84%	基礎編では主にスマホの使用方法や基礎知識、実践編では実際にスマホを使っての情報の検索方法や発信方法などの講義 ・基礎編 (1回) 参加者204人 ・実践編 (2回) 参加者各15人	A	パソコンやプロジェクターを用いて高齢者にとって具体的でわかりやすい講義を行ったので、受講生が学んだことは、すぐに実践・応用できる。	80%	好古学園大学校
64-1	デジタル・デバイド対策の実施	スマホ操作に慣れていない高齢者を対象にスマホサロン・スマホ教室等を重点的に実施し、デジタル・デバイドの解消を図るとともに、初めてスマホを所持する高齢者に対し新規契約時にポイントを付与する。	延べ利用者数	4,480人	令和6年度 新規事業		—		4,480人	高齢者支援課
64-2	公民館デジタル・デバイス対策講座の開催	公民館でデジタル・デバイス対策講座を開催し、情報格差の解消に繋げる。	講座の実施回数	100回	101回	スマートフォン講座などを合わせて101回実施した。	A	数値目標からして十分達成できたと思う。	68回	市民活動推進課
再掲	高齢者消費者被害防止講座の開催 ※No.49再掲	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	講座回数	30回	45回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施 ・生涯学習大学校において、高齢者や身近で見守る人を対象とした「高齢者消費者被害防止講座～サイバー空間の危険から身を守るために！」を9月26日に開催	A	高齢者に消費者トラブルの未然・拡大防止の啓発を多方面で実施できた。	50回	消費生活センター

(4) 社会参加への促進

① 交流する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
65	高齢者交流施設の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、香寺いきがいセンター、家島宮老人の家他3施設を管営する。	利用者数	11,000人	7,233人	利用件数及び利用者数 ・家島宮老人の家 45件/462人 ・家島坊勢老人の家 127件/1,347人 ・家島真浦老人の家 54件/517人 ・家島男鹿老人の家 24件/112人 ・香寺いきがいセンター 837件/4,795人 合計1,087件/7,233人 ※老人の家は令和6年度以降、地元区会の責任で管理することとなったため、利用人数は把握できなくなる。	B	全体としては、おおむね目標を達成することができた。	13,000人	生涯現役推進室
66	老人福祉センター等の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、老人福祉センター等を運営する。	利用者数 (楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉センター)	57,000人	50,798人	利用人数 ・楽寿園 42,147人 ・家島老人福祉センター 2,031人 (R6.8廃止) ・香寺健康福祉センター 6,620人 (R6.3廃止)	B	目標値を下回ったものの、校区登園や高齢者教室を実施するなど、健康の増進や教養の向上に資することができた。	65,100人	生涯現役推進室 (楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉センター)
67			利用者数 (すこやかセンター(老人福祉センター))	80,000人	64,994人	・校区登園 (登園日: 206回、登園者数: 7,963人) ・教養講座の開催 (実施回数: 206回) ・趣味の教室の開催 (209回開催・登園者数: 5,677人) ・図書の貸出 (貸出冊数: 353冊)	A	新型コロナウイルス感染拡大前の利用状況にまでは戻っていないものの、徐々に利用者数は回復してきており、利用者の満足度も高い。	80,000人	地域福祉課 (すこやかセンター(老人福祉センター))
68			利用者数 (夢前福祉センター(老人福祉支援施設))	6,000人	1,419人	・開館日数 307日 ・施設総利用者数 53,095人 ・老人福祉支援施設利用者数 1,419人 ※延べ人数	B	利用者数の回復が遅れている。	6,000人	高齢者支援課 (夢前福祉センター(老人福祉支援室))
再掲	市民会館・地区市民センターの運営 ※No.10再掲	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センターを運営する。	利用率	57%	54.6%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適な施設環境改善に努めた。	B	目標数値を概ね達成することができた。また、利用者の満足度も高かった。	60%	生涯現役推進室

② 社会的孤立の防止と地域支え合い活動の推進

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
69	ひとり暮らし高齢者へのふれあい食事サービスの実施	地域の高齢者のふれあい・交流を深め孤独感を解消し、生きがいの高揚を図るため、昼食を提供する。	ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいに根差して、感染対策を徹底した上で、引き続き継続していく。	ひとり暮らしの高齢者に対し給食を届けたり、一堂に会して食事をしたりする機会の提供を行った。	・実施地区 71地区 ・実施回数 1,131回 ・延べ参加人数 60,205人 ・参加者数 4,942人	B	事業の目的である、ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいについて、概ね実現することができている。	地域の高齢者の食生活が改善され、地域の人とのふれあい・交流が深まり、ひとり暮らし高齢者の孤独感が解消され、生きがいの高揚が実現されている。	高齢者支援課

70	認知症サロンの充実	認知症の人であるか否かに関わらず、地域の高齢者が自由に通うことができる「認知症サロン」を支援する。	認知症サロン数	110グループ	96グループ	認知症サロン参加者に対し、フレイルチェック票やDASKを実施し、必要な市民には受診へ繋げる支援を行うことにより、認知症の早期発見や進行防止、介護予防機能を付加できた。	B	目標値は達成できなかったが、地域包括支援センターの介入の下、各グループで工夫して認知症サロンを開催し、認知症の早期発見及び進行防止に向けた支援ができた。	118グループ	地域包括支援課
71	認知症サポーターの養成	地域や職域において認知症の人やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成する。	認知症サポーター数	49,000人 (累計)	48,957人 (累計)	・認知症サポーター養成講座を62回開催し、2,698人の養成を行った。 ・小学校で3回、中学校で8回、高校・大学で2回の認知症サポーター養成講座を開催。10代の受講者は41.6%を占めている。	B	ほぼ計画通りの進捗であり、目標数に近い人数の認知症サポーターを養成できた。	50,500人 (累計)	地域包括支援課
72	地域包括支援センターの充実	体の衰えや地域での暮らしに不安のある高齢者に対し、地域包括支援センターが相談・支援を行う。	生活支援に関する地域課題を関係者間で共有できる仕組みづくりを行う。		介護予防に関する地域課題について関係者間で共有することができた。	・地域ケア個別会議 ケアマネジメント力向上会議 24回 地域支えあい会議 94回 自立支援ケア検討会議 17回 ・地域マネジメント会議 4回 ・実地指導 13カ所 ・第三者評価 10カ所	B	地域ケア個別会議より抽出した地域の課題を準基幹地域包括支援センター単位で関係者間で共有することができた。	地域包括ケアシステムの中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにマネジメントを行うことができています。	地域包括支援課
73	終活支援事業の実施	人生の最期に自身の意思が尊重されるよう、ひとり暮らしの高齢者等を対象に、緊急連絡先等の登録や、葬儀・納骨に関する相談先の情報提供を行う。	利用者数	120人	令和6年度新規事業		—		120人	高齢者支援課
再掲	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援 ※No.16再掲	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	535グループ	480グループ	介護予防に取り組む自主グループの立ち上げ・継続支援を実施した。	B	地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	600グループ	地域包括支援課 保健所健康課

③ 高齢者の外出促進

No.	事業名	事業概要	R 5 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標/目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
74	高齢者交通安全教室の開催	参加体験型の学習を通して、交通安全意識の向上を図る。	受講者数	6,510人	3,192人	年間61回の高齢者交通安全教室を開催し、延べ3,192人が参加した。	A	関係機関と連携・協力し、交通事故防止の再認識を促した。	6,600人	危機管理室
75	公共交通のバリアフリー化の推進	高齢者・障害者等に配慮した公共交通のバリアフリー化を推進する。	事業者の申請に応じて公共交通バリアフリー化への補助を行い、公共交通のバリアフリー化を促進して、利用者の利便性を向上させる。	バス事業者からの申請が予定台数より少なかったものの、補助を実施した。また、鉄道駅舎バリアフリー化工事については、令和5年度内の遂行が困難となったが、令和6年6月末に完了予定である。	・ノンステップバス購入経費の補助 (神姫バス) 中型5台 ・鉄道駅舎バリアフリー化工事の補助 山陽電鉄・夢前川駅	B	ノンステップバス購入経費の補助については、事業者からの申請数が計画より少なかったものの、補助を実施した。また、鉄道駅舎バリアフリー化工事の補助については、事業者による令和5年度内の工事完了が困難となったが、令和6年6月末に完了予定。これにより、バリアフリー化を促進し、利用者の利便性を向上させることができる見込みである。	公共交通のバリアフリー化に要する費用の一部を助成することで、バリアフリー化を促進し、高齢者や障害者を含むすべての人が公共交通を容易に利用できるようになっている。		地域公共交通課 鉄道駅周辺整備課

76	高齢者福祉優待カードの交付	65歳以上の市民を対象に、市内の11施設が無料になる優待カードを交付する。	延べ利用者数	82,000人	58,679人	・交付枚数 7,813枚 ・延べ利用者数 58,679人	B	延べ利用者数の目標値には届いていないが、満足度は一定程度得ていると思われる。	83,000人	高齢者支援課
77	高齢者バス等優待乗車助成事業の実施	75歳以上の市民を対象に、バス、鉄道、船舶、タクシー（タクシーは要介護2から5の人のみ）のうち、いずれか1つの交通機関の優待乗車券を交付する。 ※令和6年度9月末で鉄道は廃止、タクシーの要介護要件は撤廃	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。	対象者への申請書の送付及び申請に基づいた優待乗車証等の交付を行い、高い交付率を維持することができた。	【交付実績】（令和6年3月31日現在） ・対象者数 72,726人 ・交付者数 66,423人 バス 23,898人 鉄道 40,902人 船舶 761人 タクシー 862人 ・交付率 91.3% ※令和6年度9月末で鉄道（ICOCA）は廃止、タクシーの要介護要件は撤廃	A	交付率は90%を超えて安定している。高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができた。	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。		高齢者支援課